

第5号様式（第6条関係）

工 事 施 行 届 出 書

年 月 日

（宛先）鈴鹿市長

〒  
申請者 住 所 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

電 話 \_\_\_\_\_

鈴鹿市公共基準点管理保全要綱第6条第1項の規定により公共基準点の保全処置を確認していただきたいので、下記のとおり届出します。

記

工 事 の 目 的			
工 事 の 場 所	路線名	市道	線 車道・歩道・水路
	場 所	鈴鹿市	地先
工 事 の 内 容	構 造 物 名		
	延長 ( ) m、幅 ( ) m、高さ ( ) m、 面積 ( ) m <sup>2</sup> 、本数 ( ) 本		
工 事 期 間	年 月 日から 年 月 日まで ( ) 日間		
道 路 復 旧 方 法	原状回復 ・ その他 ( )		
工 事 の 実 施 方 法	直 営	施工業者 住 所	
	・ 請 負	業者名 担当者 連絡先	
添 付 書 類	位置図、構造図（平面図・縦横断面図・詳細図・面積計算書）		
	公共基準点（街区三角点・街区多角点等）と工事箇所的位置関係がわかる図面		
備 考			

（ 担当者 住 所 \_\_\_\_\_  
氏 名 \_\_\_\_\_  
電 話 \_\_\_\_\_ ）

## 記載要領

- 1 申請者が法人である場合には、「住所」の欄に主たる事務所の所在地、「氏名」の欄には名称及び代表者の氏名を記載すること。
- 2 「工事の場所」の欄には、地番まで記載すること。施工箇所が2以上の地番にわたる場合には、起点と終点を記載すること。
- 3 「車道・歩道・水路」の欄には、該当するものを○で囲むこと。
- 4 「工事の内容」の欄には、延長・幅などの数値は小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。ただし、面積が $0.01\text{m}^2$ より小さくなる場合は、 $0.01\text{m}^2$ とする。
- 5 「工事期間」の欄には、工事实施から完了までの期間を記載すること。仮設、移設等含む場合は復旧までの期間を含めて記載すること。
- 6 「原状回復・その他（）」の欄については、原則として原状回復とする。それ以外は、その他（）に内容を記載すること。
- 7 「直営・請負」の欄は、該当するものを○で囲むこと。未定の場合には、その旨を記載すること。
- 8 その他必要な事項については、「備考」の欄に記載すること。
- 9 本申請の提出が申請者と異なる場合には、担当名を記入すること。担当名が法人である場合には、「住所」の欄に主たる事務所の所在地、「氏名」の欄には名称及び代表者の氏名を記載すること。